

本日の例会 [2409th] 2017.10.13~14

移動例会

13日：野球大会前夜祭 東京第一ホテル米沢

14日：野 球 大 会 皆川球場

(12日の例会は13日~14日に振替となります。)

前回の例会 [2408th] 2017.10.5

ゲストスピーチ

東日本高速道路㈱東北支社 山形工事事務所 所長 坂 卷 広 治 氏

・点鐘12時00分 山村 義美 会長

・国 歌 君 が 代

・ロータリーソング 奉 仕 の 理 想

・ソングリーダー 木 村 健 彦 君

・S A A 若 林 智 次 君

会長あいさつ

山村 義美 会長

みなさんこんにちは、先週はガバナー公式訪問・芋煮会という長時間にわたる例会でした。大変お疲れ様でした。一大イベントの一つが終わり一安心しているところです。

本日のお客様のご紹介を致します。
NEXCO 東日本東北支社 山形工事事務所 所長 坂巻 広治様です後程講話とトンネル工事の見学会よろしくお願ひします。

さて、稔の秋を迎えて今週は高畠ふるさと祭りが町内いろんな会場で行われますので、みなさま足を運んでいただきたいと存じます。

寒さが一段と厳しくなり北海道では雪の便りも聞こえています。体調管理を万全にして頂き風邪などひかぬよう気をつけて下さい。

スマイルBOX

会員誕生

福島 悟 君・庄司 薫 君

結婚祝い

庄司 薫 君・金子 良弘 君

・デマンド交通の安全祈願祭と出発式に行ってきました。皆様是非ご利用下さい。

山村 義美 君

・ピヨたまワイドに出演し、松茸の料理の宣伝をしてきましたが、今年は不作で困っています。

井田 裕子 君



《出席報告》

会員数 49名 出席者数 23名 出席率 46.94 %

前回修正 出席者数 49名 出席率 100.0 %

今回の例会 [2410th] 2017.10.15

移動例会

インターシティー ミーティング

南陽市：熊野大社 證誠殿

ゲストスピーチ

東日本高速道路㈱東北支社 山形工事事務所 所長 坂 卷 広 治 氏

東北中央自動車道(南陽高畠~山形上山間)

事 業 概 要

1.路線概要

●区 間 山形県東置賜郡高畠町大字深沼(南陽高畠IC)~山形県上市市金瓶(山形上山IC)

●延 長 24.4 km

●車線数 工事2車線(用地4車線)

●設計速度 100km/hr

●全体事業費 約1,237億円(1m:約507万円)

2.事業経緯

基本計画：平成 元年 2月27日

都市計画：平成2年 9月11日(上山IC~山形上山IC)

：平成 8年 5月21日(南陽高畠IC~上山IC)

整備計画：平成10年12月25日

事業許可：平成18年 3月31日

供用予定：平成 30 年度

3.構造概要

①道路構造別延長

道路構造	延 長(比率)	備 考
土 工	13.8km(約55%)	
橋 梁	1.3km(約5%)	11橋
トンネル	9.3km(約40%)	7箇所
合 計	24.4km(約100%)	

②インターチェンジ

称	接続道路	備 考
南陽高畠IC(供用中)	一般国道13号、113号	米沢南陽道路
上山IC(仮称)	一般国道13号	上市市藤吾
山形上山IC(供用中)	一般国道13号	東北中央自動車道

③休憩施設

称	設置位置	備 考
南陽PA(仮称)	南陽高畠IC~上山IC間	トイレのみ整備

4.工事進捗率

H29.8末事業進捗率<約58%:事業費換算>

<参考:土工進捗率:約82%、上部工進捗率:約66%、舗装工事0%、施設工事0%>

■東北中央自動車道の事業概要

東北中央自動車道は福島県相馬市を起点とし、福島市・米沢市・山形市・新庄市などを經由して、秋田県横手市で秋田自動車道に連結する総延長約268kmの高規格幹線道路です。

この路線は、福島県・山形県・秋田県の内陸部の主要都市を結ぶとともに、常磐自動車道・東北自動車道・山形自動車道・秋田自動車道と接続することから、南東北における高規格幹線道路網を形成し、地域間交流はもとより緊急時における代替及び迂回等のネットワーク機能の強化を担う路線です。

現在、96.8km(全体<約268km>の約36.1%:うち山形県内68.7km)の区間が開通しています。

※H29.11.4(土)福島大笹生IC~米沢北IC間(35.6km)開通

■東北中央自動車道 南陽高畠IC~山形上山IC間の整備効果

○東北自動車道・山形自動車道・東北中央自動車道間でのダブルネットワークの構築



東北中央自動車道 南陽高畠IC~山形上山IC間と福島JCT~米沢北IC間(新直轄)が整備されることで、山形エリア、福島エリア及び仙台エリア間にダブルネットワークが形成され、東北道、山形道、東北中央道のいずれかに通行止めがあっても各道路が相互補完し、エリア間の移動が可能になります。

○国道13号の代替路
国道13号の災害や事故による通行障害の発生時には、代替路として貢献します。また、東北中央自動車道の整備による交通分散に伴い、国道13号の渋滞の緩和が期待される。

○所要時間の短縮
県都への所要時間が短縮されます。
山形市~米沢市 整備前70分⇒整備後50分(20分短縮)
県南地域から山形空港へのアクセスが向上します。
山形空港~米沢市 整備前90分⇒整備後70分(20分短縮)
○地域医療環境の改善、高次医療施設への搬送ルートとして利用されます。

山形県には3箇所の三次救急医療施設があり、東北中央自動車道は、そのすべての施設への搬送ルートとしての役割を果たします。複数の三次救急医療施設の選択が可能になり、特に冬場の降雪時等は、一般道と比べて安静に搬送することが可能です。

【三次救急医療施設】
・県立中央病院(山形市)
最寄IC:山形道 山形JCT~山形北IC(退出路)
・山大医学部付属病院(山形市) 最寄IC:山形上山IC
・置賜総合病院(東置賜郡川西町) 最寄IC:南陽高畠IC
○物流効率化の支援、山形特産の果実の出荷・安定供給に寄与します。

高畠町、南陽市、上市市の果実等の農産物は、主に国道13号を利用して首都圏や山形市方面に運ばれています。東北中央自動車道の整備により「ぶどう」「ラフランス」「さくらんぼ」等の果実の運搬時の荷いたみが軽減され、安定的な供給に寄与します。
○広域的な交流・連携強化、山形県内の著名な観光地へのアクセスが向上します。

高畠町、南陽市、上市市には、全国的に著名な温泉地等があり、毎年多くの観光客が訪れています。東北中央自動車道の整備により、近隣観光地とのアクセスが向上し、県外観光客のみならず県内観光客の利用にも期待されます。

○地域産業の支援、地域の活性化
既に供用している山形上山IC、南陽高畠ICの周辺地域においては東北中央道へのアクセスの良さから工業団地の分譲率が高い状況にある。また、沿線には新たな工業団地の整備が計画されており、東北中央自動車道の整備による関東方面へのアクセス向上により、さらなる地域産業の活性化が期待されます。